

# 週報

2023年度 教会標語

「礼拝に集おう！主に癒され、整えられて」

&lt;先週の説教から&gt;

『ミカ ⑩ - ああ、ベツレヘムよ！』

武田真治牧師

ミカ書 5:1-5 マタイ福音書 2:1-7

今日のミカ書5章1節以下は、おそらくミカ書の中で最もよく知られた聖書箇所ではないかと言えます。即ち「エフラタのベツレヘムよ、お前はユダの氏族の中でいと小さき者。お前の中から、わたしのためにイスラエルを治める者が出る。」です。イエス様がベツレヘムでお生まれになることを預言している聖書箇所として、マタイによる福音書2章6節でそのまま引用されているからです。

ただ、ミカ書全体から読むと、当時の人々がいかに”真の王様=救い主”を切に求めていたか、その切実さがよく分かります。直前の4章ではエルサレムの住民たちは「王は絶たれ、参議たちも滅び去った」と、もはや国の王様にも、指導者達にも絶望して、誰が自分たちを導いてくれるのだろうかと思っていたのでした。そのような彼らにミカが神様から取り継いだ預言が上記の“ベツレヘム預言”なのでした。このように、救い主がベツレヘムに生まれると預言されている意味、理由は何なのでしょう？

ミカ書から教えられることは3つの理由があると考えられます。①ベツレヘムで生まれるということはエルサレムではないという意味です。ミカがこの預言を取り継いだ時には、実はまだエルサレムの町は存在し、王様は代々その子に王位を継承し、エルサレム神殿への巡礼は盛んでした。しかし、もはやエルサレムではないと、エルサレムの新しくそして真の救い主なる王様は生まれないと。むしろ、地図にも載っていない小さな村から救い主が生まれると。そこにこそ、人の業ではなく、神様の救いの業を見るのです。

2つ目の理由は、②ベツレヘムはダビデが生まれ育った村であったという意味です。ダビデは預言者サムエルによって生まれ故郷ベツレヘムで油注がれ、王に任命されました。従って、ベツレヘムで生まれる救い主は新しいダビデ=ダビデの系図ではあるが、今までの王様の家系ではないと。

最後の理由は、③神様はベツレヘムが「小さい」村だからこそ選ばれたという意味です。神様は無きに等しい存在に目を留めてくださり、追いやられた存在を用いられることによって、それぞれ神様のみ業であると示されると。

イエス様こそ、ベツレヘムで、ダビデの血筋に生まれられました。しかも、「客間には彼らの居場所がなく」馬小屋の中で、飼葉おけに寝かされるような“人々に顧みられず、世の中から追いやられた存在”として、最も低き所に生まれられたのでした。それ故、イエス様の御誕生を既に知っていたマタイ福音書を記したマタイは「ベツレヘムよ、お前は決していばん小さいものではない」と敢えて変えて引用していると言えます。私たちも主に顧みられている者として“決して小さいものではない”のです！

\*\*\*\*\*

## 【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 11月29日(水) 20:00  
II. 11月30日(木) 10:30

聖書: ハイデルベルク信仰問答  
祈祷主題: アドヴェント・アドヴェント音楽祭を覚えて  
担当者: (水) 相浦 (木) 金刺  
祈りに覚える人: 圓谷さん 鶴巻さん  
\*ひつじ雲の会 11月28日(火) 13:30~

## 【教勢報告】

主日礼拝 男23 女53 計76  
祈祷会 I. 男5 女3 計8 II. 男1 女9 計10  
日曜学校 幼稚科4 小中科7 計11  
ハンナの会(11月21日(火)) 男2 女8 計10

\*\*\*\*\*

## 【次週主日礼拝】 12月 3日(日)

聖書: ミカ書 5:5~14  
ローマの信徒への手紙 8:5~24:12  
説教: 「待降節・ミカ⑩—私たちが新たに変わって導くもの！」 武田真治牧師  
讃美歌: 242(1)、240(1)、32、聖歌隊229、453、346、78(1~2)、88(1)

## 【次週当番表】

司式: 金刺長老 奏楽: 羽倉 礼拝: 保坂長老  
配餐: 相浦 飯田 茨木 岩佐  
坂田 各長老

献金: 松田 松山 受付: 西尾 森本

会堂準備: 浅井 阿部 齋藤 山田

看板: 保坂 週報: 岩佐 お花: 森本

【次週集会予定】 礼拝前: ・求道者会 ・聖書輪読会  
礼拝後: ・アドヴェント音楽祭 13:30~  
・お茶の会 ・牧師と語る会

2023年 11月 26日

日本キリスト教団 上尾合同教会  
牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見2-3-33  
TEL&FAX 048-771-6549  
<http://www.ageo-church.org/>